

**ニッケグループの株式会社京都医療設計は、腹腔鏡手術の
安全性を高める新型マルチポートの市販を開始しました**

ニッケの100%子会社である、株式会社京都医療設計（以下、京都医療設計）は、この度、腹腔鏡手術用マルチポート「Dome Port™（ドームポート）」の全国販売を開始しました。
（2023年10月1日）

本製品は、本体を透明シリコン製にすることで、従来の同様の製品に比べ、手術器具の操作性と挿入部分の視認性が大きく改善しています。

【Dome Port™（ドームポート）】



※ マルチポートとは

腹腔鏡手術では、手術部位を3から5か所程度小さく切開し、内視鏡や鉗子などを挿入する筒（ポート）を挿入しますが、傷口が複数になるため患者の身体的負担は少なくなく、術後の整容性（手術痕の見た目）も問題になります。

これを改善する単孔式手術（腹部に一つだけ穴を開ける）に用いられるのが、一本の筒（ポート）に対して器具挿入口を複数持つ腹腔鏡手術用マルチポートです。

＜開発の背景＞

単孔式手術の手術痕はおへそに隠れるためほとんど判らず、患者の体に優しく満足度も非常に高い手術術式です。しかしながら、従来のマルチポートは樹脂製のため器具が体内に挿入される部分を目視できず、かつ操作する際に柔軟性に欠けるため術式の難度が高い点が問題でした。

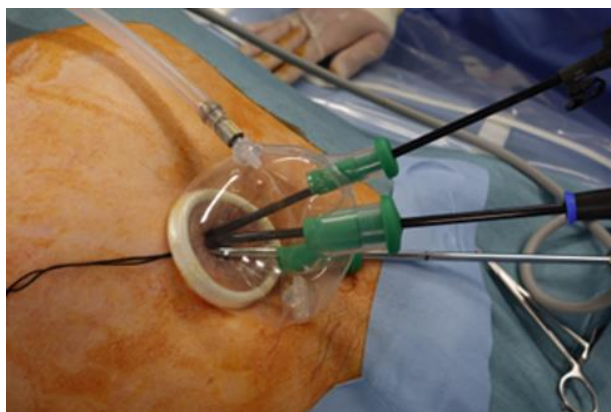
そこで、単孔式手術で1,500例以上の術例を持つ、大阪医科薬科大学 医学部一般・消化器外科学教室の朝隈光弘講師の発案により、そのアイデアを京都医療設計が製品化したのが、今回市販を開始した「Dome Port™（ドームポート）」です。

NEWS RELEASE

<本製品の特長>

本製品は、ドーム型の透明シリコン製で、鉗子や内視鏡カメラなどの手術器具が体内に挿入される状態を術者の目視で確認でき、手術の安全性が高まります。また、非常に柔軟性があり、挿入される手術器具とポートが干渉することなくスムーズに手術を行えます。

【使用例】



オールシリコン素材のため、ポートと器具が干渉せずスムーズに挿入可能。

京都医療設計は、今後も医療従事者のニーズに応え、患者の健康回復と安心に貢献する医療材料等を提供して参ります。

《本件に関する問い合わせ先》

株式会社 京都医療設計
営業部 部長 畑本 太加由
TEL：075-595-5595